

## □ アナリスト週間相場予想

		
江崎		
西		

## Pick up News

〔注目スケジュール〕

- 8/22 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉報告
- 25 米中古住宅販売件数
- 26 米新築住宅販売件数、米消費者信頼感指数  
米FOMC議事録公開 (8/5開催分)
- 28 ユーロ圏消費者信頼感指数、米新規失業保険申請件数
- 29 消費者物価指数 (日本)、鉱工業生産指数 (日本)  
ユーロ圏消費者物価指数、失業率  
シカゴ景況感指数  
CFTC建玉報告

## □ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



金は今月に入って下降バンドウォークに突入し8/19安値2786円をボトムとして反発に転じ2900円所で2日間推移している。この2日間はボリンジャーバンドー1σで揉みあう展開を見せており、一旦の落ち着き所として急落の調整を時間軸でもって行っている感がある。時間軸の調整場面であると推測した場合はこのままボリンジャーバンドの収束と共に直近のボトム2786円(8/19安値)と昨日の高値2904のレンジ相場に入ったと判断する事が適当であろう。とすると単純にこの約120円幅のレンジをどちらかにブレイクするまでは逆バリが有効。現在の値位置2900円弱というのはレンジの上限、つまりは売りスタンスで臨むべき場面であるという事ができる。対して白金にも同様の理屈を当てはめるとこちらの時間軸的調整は8/19日の長大陰線の高安4555円～4892円がレンジの上限・下限となる。底値圏である事を考慮しても積極的に現在のレンジ上限となる値位置(8/21引け値4836円)で買い進むのは躊躇われる。単銘柄では売りスタンスだが安定感のある金売りのヘッジとしてか、日計り限定での参入が安全策と言えよう。(8/21引け後現在)

## □ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

貴金属相場は大きく売り込まれたが、これはドル買いの裏返しでもある。米ドル相場は原油相場の下落開始とともに急速に反転し、資源国通貨に続いて対ユーロでも水準訂正が大きく進んだ。これまで米国経済ばかりが注目され、ドル売りが続いていたものが、他国の景況感悪化が伝えられるたびに、相対的にドルが浮上したものである。積極的なドル買いではなく、あくまで消去法的なドル買いとの見方が強かったわりには、ドル高がしつこく続いた。その度に貴金属相場は下げ幅を拡大させてきたが、ようやく為替市場では反転の兆しが見え始めている。

当然、ユーロ/ドルが上向き(=ユーロ高)となれば、これまでとは資金の流れが逆になることは容易に想像でき、貴金属には上げ材料になるものと思われる。そのきっかけとなりそうな経済指標の発表が、月末接近とともに多く予定されている。米住宅関連指標のみならず、FOMCの議事録公開、そしてユーロ圏の指標も注目度が高くなりそう。無視して良さそうなのは日本関連の指標ぐらいで、為替市場の反応を眺めて方向感を探ることになりそう。

あと留意しておくべきは、米国の空売り規制。これは株式市場において、金融関連株に関して取られた処置を全銘柄に拡大しようというもので、まだ実施されるかどうかは定かではない。9月には米金融機関の決算が控えており、下方修正リスクに株式市場は怯えることになりそうである。そのせいもあって、月内にはどういう形になるか決着する公算が大きい。仮に株式市場が信用不安の重石に耐え切れなくなった場合、ドル安から貴金属は浮上の目が出ると同時に、ETF解約絡みの売りに見舞われるリスクも残る。まだまだ不安定な相場が続くものと身構えたい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

## ▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

## ▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。  
※上記取引証拠金は2008年8月1日現在の金額です。

## ▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。  
※上記委託手数料は2008年8月1日現在の金額です。

## ▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。  
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)